夏に気をつけたい事故

事故の概要

【事例①】冷却スカーフを首に巻いていたら、湿疹が生じた。
【事例②】キャンプ場でサンダルを履いて走っていたら、転倒して負傷した。
【事例③】花火に点火したら、約5m離れていた女性に当たり、右手にやけどを負った。

事故の原因

【事例①】冷却スカーフに含まれる成分により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものです。
【事例②】急停止などサンダルの前方向に過大な荷重が加わり、鼻緒が破断しました。鼻緒が切れた衝撃に加え、サンダルが濡れた状態だったため、転倒したものです。
【事例③】花火が打ち上げ時に倒れて水平方向に飛んだものです。

事故防止のために

◆肌に直接触れる冷却スカーフやパッドで刺激やかゆみなどを感じたら、使用を中止して専門医に相談してください。
◆サンダルを履いて走らないでください。鼻緒が切れて転倒するおそれがあります。
◆花火は対象年齢を守るなど、取扱説明書どおりに正しく使用してください。また、子どもだけで遊ばせないでください。

nite 製品安全センター